

職員紹介

転入職員・新任職員を紹介させていただきます。 皆さん、宜しくお願いいたします！

2月1日から（転入）

生活支援課1係へ 主査 池田 健洋：「船形コロニーからきました。よろしくお願いします。」

4月1日から（転入）

総務課へ 業務補助員 百々 淳：「ばれっとさとのもりから参りました「百々」です。「どど」と読みます。どうぞよろしくお願いいたします。」

生活支援課2係へ 生活支援ワーカー 浅沼 朋子：「船形コロニーからきました。よろしくお願いします。」

2係へ 生活支援ワーカー 内田日加里：「援護寮からきました。よろしくお願いします。」

地域支援センターはたたてへ

主任主査 高橋 裕美：「地域支援センターしんぼし（啓佑学園）から来ました。よろしくお願いします。」

（新任）1係へ 生活支援ワーカー高橋 健太：「不慣れな点多々ありますが、よろしくお願い致します。」

太白荘 だより



令和2年5月 第64号 発行

宮城県社会福祉協議会

仙台西地域福祉サービスセンター

「救護施設 太白荘」

「地域支援センター はたたて」

仙台市太白区旗立2丁目3-1

連絡先 022-245-3721

<http://www.miyagi-sfk.net/senn/>

【新型コロナウイルス対策】

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス。感染経路には、飛沫感染と接触感染、近距離での会話などがあります。予防には、三密（密閉・密集・密接）の回避、マスク着用と手洗い励行、環境消毒等が上げられます。太白荘では基本の感染防御策（マスク、手指衛生、環境消毒）の他、職員も毎朝検温、来訪者の制限、定時換気、不要不急の外出を控えています。そしてこれからは、新しい生活様式として意識を高めた行動を継続する必要があると考えます。



【免疫を高める食事について】

- ①腸内細菌を良好に保つ発酵食品を食べる。
発酵食品には、善玉菌を増やして悪玉菌を減らす効果あり！納豆やヨーグルトがおすすめ♪
- ②たんぱく質をしっかり食べて、体力・免疫力アップ！肉・魚・卵を積極的に食べましょう。
- ③ビタミンA・E・ミネラルを摂りましょう。
ビタミンA：緑黄色野菜・レバー・うなぎなど
ビタミンE：アボカド・南瓜・アーモンドなど
ミネラル：乳製品・貝類・海藻類など
どの食材もバランスよく食べることが大事です。

【受動喫煙対策】

2020年（平成31年）4月より改正健康増進法が全面施行され、受動喫煙を防止する取り組みが始まりました。「受動喫煙」とは、副流煙を自分の意思とは関係なく吸い込んでしまうことをいいます。受動喫煙にさらされると、がんや脳卒中、虚血性心疾患、呼吸器疾患などのさまざまな病気のリスクが高くなります。太白荘でも屋内での喫煙が禁止となりました。これを機に禁煙に挑戦している利用者様がいます。禁煙を始めた0様の話では「最初は大変だったけど、始めてしまえばなんとかなった。1カ月続いたのでこのまま禁煙を継続したい。」とのこと。0様が禁煙を続けられるよう職員も応援していきます。



【編集後記】

太白荘だより5月発行分64号はいかがでしたか？外の緑はきらきらと輝いて、夏に向けて、だんだん気温も上がってきました。新型コロナウイルスの影響でなかなか外に出られず、ストレスも多くなりがちですが、早く終息して外で伸び伸びと過ごせる事を願っています！皆様も体調管理に気を付けてお過ごし下さい。

今回の太白荘だより9月発行分65号もお楽しみに！

P.S 今回のタイトル題字「太白荘だより」は、職員の宮川岳海さんに筆を執って頂きました。



新年度のあいさつ

園長 杉山 謙治

日ごろから、地域の皆様や関係機関、ご家族様よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度は4人の新しい職員を迎え新年度がスタートしましたが、年度当初から新型コロナウイルスの流行に伴い利用者の皆様には面会・外出の制限など何かとご不自由な生活を強いることになり大変心苦しく思っております。職員も外部からウイルスを持ち込まない様に細心の注意を払いながら皆様の支援に取り組んでおりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

何かと制限の多い生活ですが、午前中の作業班・創作班・健康リハビリ班の活動や午後のカラオケ・スポーツ・ゲームクラブで身体を動かしながら楽しい時間を過ごしていただきたいと思います。また、少しでも利用者様の生活に潤いが持てるように、施設内での衣類の出張販売などの新たな取り組みも行ってまいりますのでよろしくお願い致します。

【お花見会】

今年度のお花見会は、食堂にてお花見弁当を食べました。桜の木を見ながら美味しく頂きました。



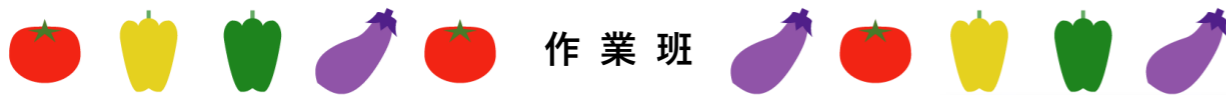
夏の使者「つばめ」がやってきました。毎日早朝からにぎやかに飛び回っています！



巣作り中！
今年も頑張ります！

ひとやすみ、ひとやすみ...





作業班

自立生活や地域移行を目指す方々が、就労体験として日々作業に取り組んでいます。屋外作業として、野菜作りや花壇整備、バス停・歩道清掃等、屋内作業として、マスク作りやさをり織り、ビーズアクセサリー作り等を行っています。

「野菜が収穫できた」「手工芸品が誰かの手に渡っていった」「辛いや称赞の声を掛けて頂けた」など、作業を通さなければ実感できない満足感や充足感は、利用者様の生活の質の向上に繋がります。

今後も作業項目の検討等を行い、利用者様の可能性の拡大と、充実した生活の実現を目指していきたいと考えております。



健康・リハビリテーション班

健康・リハビリ班の活動は、機能維持等を目的とし、主に体育室でのレクリエーションを通して楽しく身体を動かしています。メンバーが協力して行うものやチーム対抗戦形式のものなどを行い、笑い声の絶えない活動となっています。今後も楽しく身体を動かし、健康につながるよう活動してまいります。



創作班

創作班では、季節に応じた壁面の飾りつけや各種行事の準備物制作を行っています。3月にはひな祭り装飾、4月には桜の木作り、5月には紫陽花（あじさい）の飾りつけを行いました。作品を通して、季節を感じ、生活の彩りとなるよう活動しています。

また、今年度からの新しい取り組みとして、大きな塗り絵を各々の感性で塗って繋ぎ合わせるという大きな作品作りも行っています。正面玄関などにも掲示し来園者の方にも見て頂けけるようにしています。ご感想などお聞かせください。

新型コロナウイルス渦中ではありますが、各種の作品作りを通じ、やりがいや達成感などが得られるよう活動していきます。



繋ぎ塗り絵



桜の木作成の様子



【グループホーム ステイホーム実践中】

新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言を受け、全国的にステイホーム（おうちにいましょう）の要請。グループホームのみなさんも毎年でしたら、日帰りの温泉等に非日常を楽しみに行っていましたが…。今年は、楽しくない非日常になってしまいました。それでも、ステイホームを頑張っているご褒美に5月の連休中、出前を取ってチョット贅沢なランチを楽しみました。余暇時間には、趣味活動の庭いじりや編み物、お人形を愛でる時間が多くできたようです。

早くコロナが収束して、ショッピングセンターでの買い物ができるよう願っています。



【行事】節分

昨年度2月の節分では、豆に見立てたお手玉を鬼の持った玉入れカゴに投げ入れるレクリエーションを行いました。鬼役の利用者様は、自らから申し出て務めて下さる方が多く、反面優しすぎる鬼役で笑顔の絶えない節分となりました。昼には甘納豆を食べ、活動・食事を通して日本の文化に親しみ、楽しむことができました。



相談・苦情受付状況（令和元年度）

分類	件数
支援内容及び計画	3
利用料	0
権利擁護・財産管理	0
生活環境	0
その他	0
計	3

相談・苦情解決窓口担当職員を配置しております。

<なんでも相談室>

苦情解決責任者 園長 杉山 謙治
 相談受付担当者 副園長兼生活支援課長 佐藤学
 主幹兼第1係長 大和田学
 第2係長 中鉢多美子
 連絡先電話番号 022-245-3721

あいさつ運動実施中！

サービス向上・風通しの良い生活環境づくりを目的とし、あいさつ運動を実施しています。（サービス向上委員会）

あ ありがとう！
 い いつも！
 さ さりげなく！
 つ つたえよう！



創作班 桜の木